

南会津 のうりんニュース



平成22年6月(第145号)

今月の写真：高清水自然公園のヒメサユリ
(南会津町南郷地域)

雨が降ると植物も勢いづきます。少し目を離れた際にヒメサユリは茎を伸ばし花を咲かせています。しかも一輪や二輪にとどまりません。このヒメサユリのように6次産業化が南会津の慈雨になり多数の花を咲かせることを目指していきます。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・F.K.ファームが農林水産大臣賞を受賞！
 - ・有機実証ほ田植え！
 - ・食品表示ウォッチャー
 - ・アクの弱いワラビってな～に？
- 今月のコラム
 - ・マーケティング
- お知らせ
 - ・農薬は正しく使いましょう！！
 - ・山地災害の危険信号を見逃さないで！！
 - ・南会津のうりんニュースに広告を掲載しませんか？
 - ・「あいづ“まるごと”ネット」会員募集

平成22年6月28日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

F.K.ファームが
農林水産大臣賞を受賞！



賞状を手にする羽田代表（中央）と
宍戸所長（右）、松本農業振興普及部長（左）

全国で耕作放棄地の解消や発生防止に取り組む優れた団体を顕彰する第2回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰（全国農業会議所が主催）において、南会津町の有限会社F.K.ファーム（羽田正代表）が最高賞の農林水産大臣賞を受賞し、5月27日に東京都の日比谷公会堂で表彰式が行われました。

同社は、地元建設業から農業参入する形で、平成16年に農業生産法人として設立しました。耕作放棄地を解消してソバ42ha、アスパラガス1.85haを栽培し、さらにソバの製粉、そば店の直営な

ど、農業の6次産業化を実践するとともに、高齢等で耕作できなくなった水田4.5haの水稲作業を受託するなど、耕作放棄地発生の未然防止にも積極的に取り組み、地域活性化に貢献していることが高く評価されました。

今回の受賞が、地域で耕作放棄地解消に取り組んでいる方々の励みとなり、さらに耕作放棄地解消が進むことを期待します。（農業振興普及部）

有機実証ほ田植え！

5月21日、只見町に設置した有機栽培実証ほで田植えが行われました。担当農家の中野大徳さん（只見町叶津）は、「只見町の豊かな自然環境を活かした米づくりをしたい」と5年前から有機栽培に取り組まれています。植え付け後の抑草資材



田植え風景

(油粕・米糠) 散布も手際良く行われました。

平成20年度までの実証試験では有機質肥料の肥効特性、農薬を使わない場合の雑草やいもち病、カメムシの発生状況などを調査するなど、会津山間地域における有機栽培の適応性を調査しました。収量は一般栽培よりやや少ないものの(約480kg/10a)、1等米で食味の良い米の生産ができることが確認できました。試験結果は近隣地域で新たに水稻の有機栽培に取り組む生産者に活かされています。

今回の実証試験では、堆肥の肥料的効果の確認とその効率的な施用の確立を目指しています。さらに、籾殻や米糠を堆肥の原料として資源の循環利用を図ります。ほ場は、史跡「叶津番所跡」のすぐ北側です。近くにお越しの際はぜひご見学ください。

(農業振興普及部)

食品表示ウォッチャー

よろしく願います!

5月31日、南会津合同庁舎にて県食品表示ウォッチャーの委嘱状交付式が行われました。食品表示ウォッチャーとは、食品表示基準の適正な運用を確保することを目的として県が委嘱しているもので、日常の買い物の際等に食品販売店の表示状況をモニタリングし、定期的に県にお知らせしていただくものです。



食品ウォッチャー委嘱状交付

南会津農林事務所大竹企画部長から2名の方に委嘱状の交付が行われた後、県農産物安全流通課の農産物安全担当職員よりJAS法に基づく食品表示について説明がありました。県全体で40名の「食品ウォッチャー」の一員として、生鮮食品の「名称」「原産地」表示のモニタリングをお願いしました。

(企画部)

農林事務所からお知らせ

農薬は正しく使いましょう!!

農薬は、現在の農業生産に欠かせないものですが、使用方法の誤りから農薬残留基準値を超えると、農作物の回収や出荷停止という事態になります(平成18年5月29日ポジティブリスト制度施行)。この場合、当該農家だけでなく、地域農産物全体の安全性への信頼を大きく損なうことにもなります。

農薬を使用する際は、農薬のラベルをよく読み、適用作物、使用量や希釈濃度、使用時期(収穫前

アクの弱いわらびってな〜に?

皆さん、「アクの弱いわらび」をご存知ですか? 「アクの弱いわらび」とは、通常1昼夜かかるアク抜きが2時間程度で出来る品種のワラビです。このワラビは、自生していたアクの弱いものを県林業研究センターで選抜、増殖したものです。手軽にアク抜きができることから、夕方購入しても晩御飯に間に合うなどのメリットが大きく、今後の主力商品として期待されています。

去る平成22年5月22日、23日には、道の駅たじま及び道の駅しもごうにて、試験販売を行いました。「自生ワラビ」と「アクの弱いわらび」の試食品を用意し、味と簡便性をPRしました。試食者からは、「こんなに簡単にアクが抜けるなんてすごい」「たった2〜3時間のアク抜きでもうアクを感じない」「ヌメリが少ないからサラダ感覚でもいける」等の感想をいただき、用意していた品もあっという間に売り切れるほど大好評!!「毎年購入できるのですか?」などの問い合わせもあり、今後の展開が期待されます。

これからも「アクの弱いわらび」をよろしく願います♪

(企画部、農業振興普及部、森林林業部)



道の駅しもごうでの試験販売

日数)、総使用回数(有効成分の総使用回数)を確認する必要があります。さらに、自分がどの農薬を、どの時期に、どのくらいの量や希釈濃度で散布したか分かるように、散布日誌を必ずつけましょう。

また、農薬を散布する際には、隣接する農作物や周辺環境へ飛散(ドリフト)させないように注意しましょう。風の無い日や風の弱い時刻を選んで散布することが重要です。近隣に、他作物や住宅がある場合には、散布前に一声お知らせしましょう。

(農業振興普及部)

山地災害の危険信号を見逃さないで!!

～日ごろから住んでいる周辺の状況をよく認識しましょう～

南 会津農林事務所管内には、806箇所（平成22年4月現在）の山地災害危険地区があります。近年の異常気象等により、これまでの観測値を超えた集中豪雨から土石流などが発生す

る恐れが高まっています。災害から尊い人命・財産を守るため、日頃から近くを流れる沢や自宅裏山の状況を観察し、災害の危険信号を見逃さないようにしましょう。

身近で起こる山地災害

平成14年10月1日台風21号による土砂災害発生状況（下郷町三沢山地区）



豪雨により荒廃溪流から土砂が流出

治山事業による復旧状況

〈山地災害の危険信号〉

山 地災害が起こる場合、右表のような兆候が見られます。増水した川などには、むやみに近づかないようにしましょう。

**山地災害の危険信号を見つけたら
最寄の役場や南会津農林事務所へ
すぐに連絡してください。**

お問い合わせは

南会津農林事務所 森林林業部 森林土木課
電話0241-62-5381

- | | |
|---|-------------------------|
| ① | ふだん澄んでいる沢や井戸の水が濁ってきた。 |
| ② | 川が濁り、水かさが増し、流木が混ざりはじめた。 |
| ③ | 雨が降り続けているのに川の水位が急に下がった。 |
| ④ | 山腹面から石が転がり落ちてきた。 |
| ⑤ | わき水の量が急に増えた。 |
| ⑥ | 今まで涸れたことのないわき水が止まった。 |
| ⑦ | 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が出来た。 |
| ⑧ | 地鳴りの音が聞こえてきた。 |

土石流は、通常時速20～40kmです。熊本県水俣市では時速70kmを観測した例もあります。

南会津のうりんニュースに広告を掲載しませんか？

福 島県は、積極的な広告事業により、民間企業と協働して県民サービスの向上及び地域経済の活性化の推進を図る目的で広告事業を行っております。

「南会津のうりんニュース」掲載を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

南会津農林事務所 企画部地域農林企画課
電話 0241-62-5252

福島県の広告事業

検索 🔍

今月のコラム

マーケティング

本年4月から企画部にまいりました大竹と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、前の職場では、県産品の県内外への売込みを担当しておりました。その時に感じたことを以下に述べさせていただきます。

私は、以前より、我が県の産品は多彩であり良質で、どこに持って行っても苦勞しないでも売れるものと信じ込んでいました。

ところが、かつて実施した事業において、県内の事業者様より商品（加工食品）をお預かりし、第三者機関において専門家の目で評価していただいたところ、本県産の商品については、「味・食感」「取り扱い易さ」等においては評価が高い反面、「新規性」「価格設定」「トレンド」等においては低い評価となりました。言い換えると味は良くて食べやすいけれど、商品としての新鮮味がなく値段が高めであるということになります。

こういったことに対応するため、マーケティング

の重要性があります。

例えば、首都圏で商品売りたいということであれば、首都圏のスーパー等でどういったものが売られていて、どういった商品が好まれているかなどのリサーチが不可欠です。

特に、首都圏のスーパー等は、郊外を除き中・小規模の店舗が多く、売り場面積に制約があることから、新たに商品の取引をしていただくとすれば、従来からの販売商品と置き換えていただくこととなります。

このためには、他の商品に対する優位性が求められることとなります。

南会津には、豊かな自然に育まれた生産環境があり、伝統的な食文化も継承されております。他の商品との差別化が図られるよう、マーケティング情報を踏まえて原材料や製造方法を検討し、南会津にしかない商品であるといったストーリー性を持たせていくことが重要であります。また、その特徴を理解していただくには丁寧な商品の説明も必要であります。

企画部長 大竹 浩二

農林事務所からお知らせ

「あいづ“まるごと”ネット」会員募集

(会津地域産業6次化ネットワーク)

【目的】南会津地方と会津地方の農林水産物や観光資源を始めとした優れた地域資源を有効に活用した、農林水産物の6次産業化や農工商連携などの新たな事業展開に向けて、意見交換や事業パートナーとの出会いの場を設けます。

【会員資格】地域産業6次化に関心と意欲のある個人・団体の方どなたでも参加できます。

【会費】無料です。

【活動内容】年3回程度、毎回テーマを設定し多様な業種の方と情報交換する場を設け、参加者に新たな事業展開のきっかけにさせていただきます。

【お問い合わせ先】

福島県南会津農林事務所 企画部

地域農林企画課長 白井(しらい)

電子メール kikaku.af05@pref.fukushima.jp

電話 0241-62-5252

ファックス 0241-62-5256

(企画部)



お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちらから

みんなが主役。「絆」がつくる



“ごちそう ふくしま”

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



PRINTED WITH SOY INK

この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

着地型旅行会社スタート!

会津高原どっとこむ トラベルサポート



南会津の魅力をコーディネート



一緒に誘客しませんか?

インターネット通販

会津高原物産館

地元の特産物、農産物



あなたの作った物をネットでご紹介させて下さい!

パソコン修理、新規購入アドバイス

パソコンドクター



お任せ下さい!

help!

不調・トラブル
まずはお電話下さい!

会津高原どっとこむ ▶▶▶ お問い合わせは今すぐお電話 0241-78-7012

南会津郡南会津町井桁228番地